□　商品概要

昔ながらの土間たたき！【重吉たたき】

重吉たたきは、セメントの無い時代から続く土間仕上げ「たたき（三和土）」を忠実に再現した材料です。
自然素材 100％で「淡路島の土」と「天然にがり」、「石灰」を混ぜてたたき固めます。
特長としては、藁すさを配合し亀裂防止と、茶室や古民家などに合う意匠に合わせてあります。
土間たたきは、土の素朴でやわらかい質感と年月が経つほどにその表情も変化し味わい深くなってきます。
ぜひ、本物の土間たたきで、日本古来の侘び寂び空間をお作り下さい。

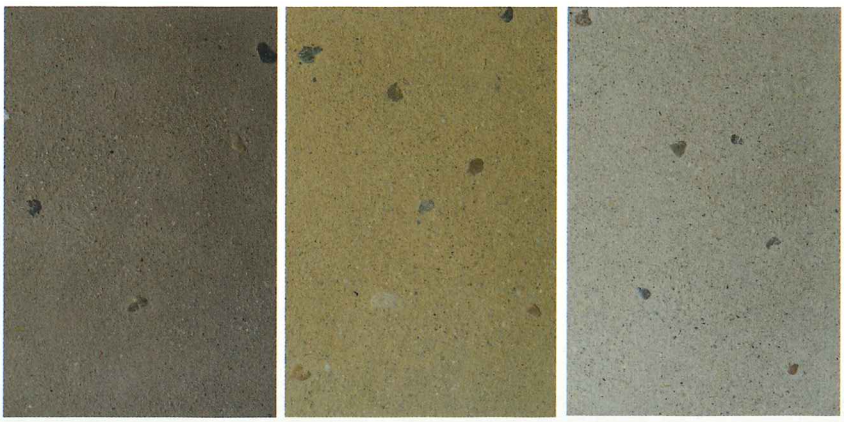
使いやすい１㎡セットにしました。

商品名	**重吉たたき　１㎡セット**
塗り厚	**40 ㎜厚**
塗布面積	**１㎡**
梱包単位	**たたき土２袋　ケース（配合剤・色材・にがり）**
主原料	**淡路土・天然にがり・稲藁・顔料**
定価	**12,000 円／１㎡セット**

5 ㎡以上のご注文で、 運賃サービスさせて頂きます。

色をお選び下さい。三色あります。

全国的にも有名な日本の土間たたきの色彩、「兵庫県の淡路（あわじ）」と、「京都府の深草（ふかくさ）」、「愛知県の三州（さんしゅう）」をイメージした3 色にしました。
淡路は茶系、深草は黄色系、三州は白系の仕上がりとなります。



淡路（あわじ）　**深草（ふかくさ）**　**三州（さんしゅう）**

重吉たたきサンプルご希望のお客様は、左記QR、又はFAXでお申し込み下さい。

サンプルお申し込み、FAX番号:0799-85-2030

https://www.kinkikabezai.com/contact_simple/?refPostID=1550&refBlogID=3

素材が特長！　1㎡セット内容

地元淡路島の自然素材を使い「土」を通じて伝統を継承する当社の思いを詰め込みました！『漆喰たたき』や『彩土たたき』で培った施工実績と材料のノウハウで開発した【重吉たたき】は、伝統を守りながら革新を実現した土間たたきです。

たたき用淡路土
27kg×2袋

藁すさ配合石灰
9kg

天然にがり
1L

たたき顔料
480g

化粧砂利
200g

□　施工要領

①　下　地

たたきの下地は、砕石や真砂土などがしっかり押し固められた下地にします。軟弱な下地や湿気が回るような下地には施工出来ません。

【適応下地】

土・砕石・栗石などの転圧下地・・・○

コンクリート・モルタル・・・△

合板・木・ボード等・・・×

注意事項

施工前下地には十分に散水を行って下さい。

コンクリートやモルタル下地に施工の場合は、コンクリートとたたきの接着が悪い為樹脂モルタルなどを下地に塗り、追い掛けで施工して下さい。

②　混　練

1）**「たたき用淡路土」「藁スサ配合石灰」「たたき顔料」**をモルタルミキサーで空合わせを行います。

2）**「天然にがり」**と**「水道水」**3L を混ぜた希釈水を準備します。

3）空合わせした1）に希釈水2）を入れながら水分が全体に行き渡るまで十分に混ぜ合わせます。

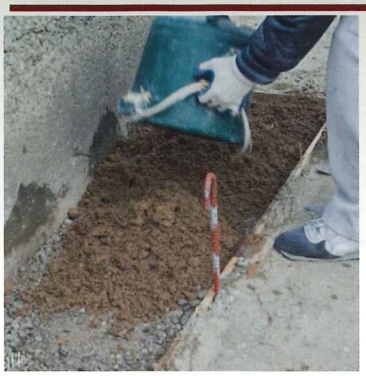
※混練り時間の目安は、約２～３分程度、色が白から土色（濡れ色）になります。

4）固い場合は、少しずつ加水しながら調整します。

※固さの目安は、手で握って団子が出来るくらいの水量に調整します。握り締めて少し水が出る程度に調整します。

5）練り上がった材料を準備して完成です。

③ 打 設



1)練り上がった材料を敷き詰め均していきます。叩き締めることで10mm程度沈み込むので、50mm～60mm程度敷き均して下さい。

2) たたき用の鏝、木槌、などを用い均一に叩き締めていきます。

※厚みは仕上がり４０mm以上で行って下さい。厚みは2 層には分けず、一度に４０mm打設し行います。

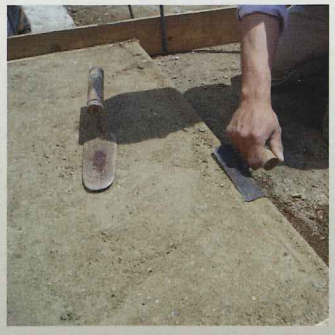
3) 凸凹にならない様にし、定規等を用いて高い場所は削り、低い場所には材料を付けながら叩いていきます。フラットにしにくい場合は、刷毛で水を付けながら鏝で表面を押さえ、ノロを浮かせ整えます。

※あまり強く叩きすぎると修正が行いにくくなります。厚みを揃え、表面を整えるように叩いていきます。
また、化粧砂利が仕上げで入りにくくなるのでご注意下さい。

化粧砂利
200g

4) お好みで、「化粧砂利」を表面に埋め込んでいきます。
※入れなくても問題はありません。
刷毛で水を表面に含ませながらお好みの位置に化粧砂利を並べ埋め込んでいきます。金鏝では砂利が割れることもあるので、木槌などで砂利表面が完全に見えなくなる程度埋め込みます。

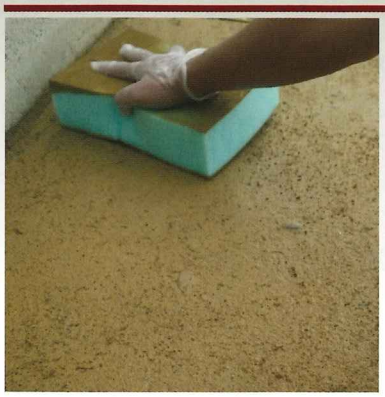
5) 化粧砂利を埋め込んだ部分が凹みフラットにならない場合は、刷毛で周辺に水を含ませながら、金鏝で押さえノロを浮かせフラットになるまで伏せこんで下さい。



6) 犬走りやアプローチなど、角を丸めて仕上る場合は、丸型の面付き鏝などを用いて丸める事ができます。
乾燥前に型を外しスポンジ等で水分を表面に含ませながら面付き鏝で押えて仕上ていきます。

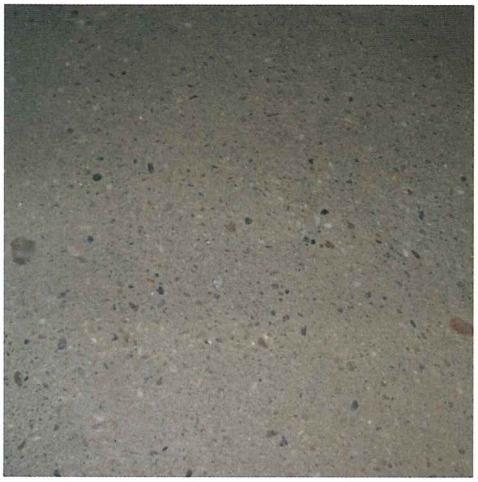
※土間たたきは強度が低いので、欠けたりする場合があります。のべ石やゴロタ石などを利用したほうが安心です。

④ 仕上げ：スポンジ拭き取り、 養生

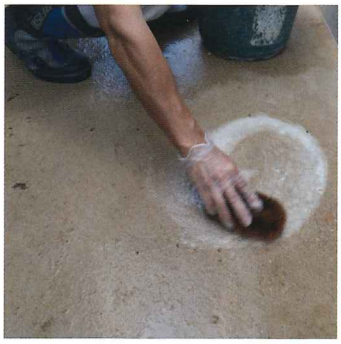


1） 当日もしくは、翌日に表面の仕上にスポンジ拭きを行います。
2） たたき表面に刷毛等で水を含ませノロを掃き取ります。その後洗い出しの要領で表面を拭き取り、砂利等が見えるまで拭き取ります。

3） スポンジ拭き取り後、通風を良くし乾燥させて下さい。雨などに当てないよう（7日～10日程度）養生して下さい。冬場は、10日以上乾燥させて下さい。



⑤ 仕上げ：乾燥後酸洗い



1） 完成後、白華が発生した場合及び、玉砂利のアクを取る為に酸洗いを行うことをお勧め致します。
2） 完成した表面を水道水等で十分に洗い流します。
3） 「塩酸」の希釈液4倍程度を使用し、たわし、デッキブラシ等を用いて全体を洗浄します。
4） 最後に大量の水で洗い流し乾燥させます。

※塩酸は、危険物につき、お取扱いについては現場の状況等配慮しご使用下さい。弊社では一切の責任は負いかねます。

□ 注意事項

- 本品は、にがり（塩分）を含んだ製品です。金属・サッシ等に接触する箇所には使用しないで下さい。
- 軟弱地盤、漏水する地盤、常に湿潤状態の地盤などには使用しないで下さい。
- 本品は、乾燥に時間がかかります。冬場の施工や工期に追われるなどのスケジュールにご注意下さい。
  ※日中気温 5℃以下になる時期の使用は絶対に行わないで下さい。
- 柱・壁・植物及び周辺の養生はしっかりと行って下さい。
- 施工は40 ㎜以上とし、下地には十分散水を行い特に夏場の急激な乾燥、ドライアウト注意して下さい。
- 空合わせや混練は、時間をかけてしっかりと混ぜて下さい。にがりが全体に行き渡るまで混ぜて下さい。
- 表面にノロ（アマ）を浮かせ、しっかりと金鏝で伏せこんで下さい。表面の強度が向上します。
- 施工は、必ずたたき用の鏝や木槌を使い中首の鏝では叩かないで下さい。鏝が壊れます。
- 本品は、土と石灰とにがりで固める昔ながらの土間たたき材料です。セメントや樹脂などとは違う自然素材材料であることを十分にご理解の上、ご使用下さい。
- 固い家具の接触場所や飲食店舗などの内部の汚れやすい場所などへの使用はメンテナンスができないので、特徴をご理解の上ご採用下さい。